

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	生物の 3D 形態を構築するロジック
領域代表者	近藤 滋 (大阪大学・生命機能研究科・教授)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、三次元形態を作る発生原理に焦点を当て、複雑な形態が自律的かつ正確に形成される仕組みを明らかにしようとする独創性・新規性のある提案である。新学術領域研究「ミクロからマクロへ階層を超える秩序形成のロジック（秩序形成ロジック）」(平成 22～26 年度)の成果の上に立脚し、その成果から新たに具現化した生命体形態における立体構築の問題を解決する領域研究であり、着実な成果が期待できる。また、研究目的の妥当性は高く、発生生物学の長年の重要課題を解き明かすために必要であるだけでなく、再生医療や工学など、他の幅広い学問分野にも大きな波及効果を及ぼす可能性がある。</p> <p>研究組織は、著しい成果を挙げた「秩序形成ロジック」において中心となった研究者に加え、実験生物学と数学を融合するために理論系研究者を補完した体制を構築している。加えて、研究支援やリソースの共有、自発的な有機的連携の推進方策も計画されており、高く評価できる。また、領域代表者の広い視野に立ったマネジメントも際立っており、領域全体の円滑な推進が期待できる。</p>